



「いじめ・不登校対策等の推進」の取組事例

(1 学期)

- ◆管内各小・中学校において、いじめ・不登校の「未然防止」に向けた短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進、スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の定期的開催等、学校の組織的な取組が進められています。
- ◆その中から、「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。
- ◆自校のいじめ・不登校対策等の推進に向けた参考資料としてご活用ください。

【「人間関係づくりプログラム」における取組事例】

学校	日田市立石井小学校	日田市立東溪小学校	九重町立飯田小学校
取組	全校スマイル朝会	なかよしタイム	みんなで「スマイル」タイム
	<p>○縦割りの活動班による、全学年交流型の人間関係づくりプログラムを実施。</p> 	<p>○めあて：「友だちの話を聞く」 ○週1回実施</p> 	<p>○毎週水曜日の朝 ○みんなのスマイルに向けて、真剣に考えたり、笑顔で共感したりする。</p> 
成果	<p>○休み時間等に同学年のみでなく、異学年とも一緒に遊ぶようになった。 ○1学期児童アンケート結果 ・「学校は楽しい」「スマイル朝会で自分の思いを伝えることができた」についての肯定的回答が90%以上。</p>	<p>○友だちを知り、認め合うことにつながり、子ども同士のトラブルが減少した。</p>	<p>○お互いを尊重する姿勢や態度が養われ、他者理解・自己理解が深まった。 ○コミュニケーションスキルを学ぶ場になった。 ○児童アンケート ・「学校が楽しい」についての、肯定的回答が90%以上。</p>

学校	日田市立いつま小学校	九重町立飯田小学校	その他の取組と成果
取組	なかよしタイム	「よいとこみっけ」	
	<p>○ショートエクササイズまたはロングエクササイズ(1～6年生合同)を実施</p> 	<p>○児童会の取組</p> 	<p>○「人間関係づくりプログラム」実施後の振り返りシートの記入 →自己理解や他者理解が進んでいることが把握できた。(大明中) ○担任がねらいを持ち、児童にもめあてを持たせ継続的に実施。 →普段関わり合うことがない子ども同士が助け合いながら活動できた。この時間を楽しみにする子どもたちが増えた。(桂林小) ○ほめ合う場、認め合う場として実施。 →朝の実施で、楽しく1日のスタートをきることができた。(光岡小) ○専門委員会主催のコミュニケーションタイムや学活の時間としてエクササイズを実施。 →学級の雰囲気が親和的になった。(戸山中) ○学級で長短問わず週1回程度実施。 →協働性や帰属性、親和性が高まり、自己肯定感が高まってきた。(このえ緑陽中)</p>
成果	<p>○日常の縦割り班活動がスムーズに行えるようになった。</p>	<p>○お互いのよいところに注目するようになった。</p>	

【SC・SSW等の専門スタッフを活用した取組事例】

- SC・SSW・地域児童生徒支援CNが校内対策委員会に参加することで、児童・保護者の支援が継続的に行われ、学校復帰に向かっている。
- SCに日常の学級の様子や別室で学習している児童の様子を観察してもらったり、話してもらったりすることで状況把握を依頼し、情報共有及び対応についての共通理解を図った。
- SSWに専門的なアドバイスをもらうことで、不登校児童の保護者に対しても具体的な取り組みを提示することができた。
- SCやSSWと情報共有をしながら、対応の共通化と個別化を図ることができた。学期末の校内対策委員会では、夏季休業中や2学期初めの対策・対応についてもきめ細かな話し合いができた。
(市教育センター心の相談員、登校支援員等の参加)
- 不登校の要因となる問題などに関して、専門的な視点から助言がもらえることで、より効果的な支援・指導が可能になった。
- SC等も参加するいじめ・不登校対策委員会において、情報共有及び専門的な見地からの意見も踏まえ今後の対応について協議した。
- 協議において、個別の指導計画に係る「アセスメントシート」を活用し、個別最適な取組を目指した。